



THE ROTARY CLUB OF HIROSHIMA-RYOHOKU

広島陵北ロータリークラブ

- The Weekly Report -

～クラブのテーマ～

こころゆたかなロータリアン

～本年度会長方針～

楽しもうロータリー



2010-2011年度
R.I.会長よりのメッセージ

第962回例会 2011年1月26日 No.934号

■ 会長時間



会長 小川 嘉彦

みまさんこんにちは、お客様にはようこそお越しくございました、ごゆっくりお過ごしください。
先週は久しぶりに親クラブの広島北RCと、子クラブの広島安佐RCとの三クラブ合同夜間例会には多くの皆様にご参加いただきありがとうございました。信原理事、高野委員長をはじめ親睦家族委員会の皆さん楽しい設営をありがとうございました。

今回の例会(2月2日)

月間卓話
『世界理解月間に因んで』
竹末 園治 会員

次回の例会(2月9日)

来賓卓話
社会福祉法人 FIG福社会
理事長 石田 晃司 様

出席報告

(森中例会運営委員長)

1月26日(水)出席者

会員総数	40名
出席会員	31名
欠席会員	9名
ご来賓	0名
ご来客	6名
ゲスト	1名

来客者紹介

(伊藤親睦家族委員)

1月26日(水)出席者

広島RC	2名
広島北RC	1名
広島西南RC	2名
広島城南RC	1名

幹事報告(石川幹事)

■ 例会変更

- ・広島東南RC 「新会員歓迎例会・懇親会」
【とき】 2月7日(月) 18:30～ [※同日変更]
【ところ】 ANAクランプラザホテル広島



.....: SMILE BOX

小川嘉彦 会員

先週の3RC合同夜間例会楽しい設営をいただいた信原理事、高野委員長をはじめ親睦家族委員会の皆さんご苦勞様でした。

瀬川長良 会員

先週の土曜日1/22に車の買取「ラビット」をうさぎ年にオープンしました。まったく異業種なので不安ですがガンバリます。皆様の高級車を売って下さい。(大枚)

当日計	12,000円	累計	486,376
-----	---------	----	---------

【例会】 毎週水曜日(12:30～13:30) / リーガロイヤルホテル広島(広島市中区基町6-78) / 082-502-1121

【会長】小川 嘉彦 【事務所】広島市中区基町6-78 リーガロイヤルホテル広島13F 【TEL】082-221-4894

【幹事】石川 貴与和 【ホームページ】http://www.ryohoku-rc.jp/ 【FAX】082-221-4870

月 間 卓 話

『ロータリー理解推薦月間に因んで』

会員研修委員会

委員長 川中 敬三 会員(写真左)

副委員長 森川 和彦 会員(写真右)



本日は、アーサーF. シェルドンを振り返ってみたいと思いますが、その前に、ロータリーの友平成22年7月号で紹介された江口克彦氏の「成功の法則」を復習してみましょう。成功の法則は、松下幸之助氏についてのお話ですが、江口氏は、松下氏が自らの成功の要因を9つ挙げておられたと紹介されています。すなわち、第1に「自分が凡人だったから良かった」、第2に「人材に恵まれた」、第3に「方針を明確に出した」、第4に「理想を掲げた」、第5に「時代になかった事業であった」、第6に「派閥をつくらなかった」、第7に「ガラス張りの経営をした」、第8に「全員経営をした」、第9に「公の仕事」です。いずれも目に見えない要因で、企業の成功、経営の成功というものの根本は、人材の育成をいかに徹底するかに尽きることだと江口氏はまとめられています。松下氏の掲げた理想・理念とは、①世のため人のための事業を行うこと、②電気製品をつくり提供することによってお客さまに喜んでもらう事業を行うこと、③清く正しく誠実に事業を行うことです。この理念は、近江商人商売十訓と共通するところが多くあります。

どうして、このような復習をお願いしたかといいますと、シェルドンは時代も場所も違うのに同じようなことを言っていたからです。シェルドンは、利益というものは利己主義よりも、人間性に根差したした目的とより深く結びつくべきものだ信じていて、職業の成功は、奉仕を与えるか否かにかかっている、そして、職業というものは、それにかかわるすべての当事者が、その取引によって利益を得るものでなければ正当化されないと考えていました。そして、「最もよく奉仕する者、最も多く報いられる」というスローガンをロータリーにもたらしたのです。このシェルドンの考え方と松下氏の考え方は驚くほど共通しています。おそらく、日本でロータリーがこれほど共感を得たのは、日本の職業人の持っていた倫理観とロータリーのこの精神が一致したからではないでしょうか。

この後、1911年の第2回大会において、シェルドンによって書かれた企業経営問題検討委員会の報告の中で、「最もよく奉仕する者、最も多く報いられる」との言葉が朗読されたとき、感銘を受けたシアトルのジム・ピンカムが、この言葉をロータリー宣言に入れるべきだと主張し、会場は万雷の拍手でこれに同意したのです。このとき以来、このスローガンは、ロータリーを先導する役割を果たしています。R. O. T. A. R. Yの歌詞にこの言葉が含まれていることは皆さんよくご存じのとおりです。この考え方は、1915年の国際ロータリークラブ連合会において、全分野の職業人を対象とするロータリー倫理訓を決議させ、1928年の古沢丈作の大連RCのロータリー宣言に発展し、四つのテスト、ロータリーの綱領につながって行きます。

RI2680地区の深川純一先生は、「ロータリークラブは、本来、社交クラブとしてロータリアンに奉仕の心を育て、世の中に倫理を提唱していくべき使命をもった団体、ロータリアンがお互いに切磋琢磨し、自己研鑽によって心を磨く団体なのであります。」と断言されています。私は、昨今のロータリーの活動を見ていると、この面が少し不十分なのではないかという疑問も持っています。RIは、全世界を見て発言していますから、日本の、各クラブの置かれた状況とは必ずしも一致しない部分があると思います。我々ももっと足下を見て、各クラブの所在する地域に合った、クラブ全員が共感できる独自の活動を模索すべきではないかと思うのです。

全くの私見ですが、私は、最近、平和公園から旧市民球場跡地を通り広島城に至る杜が作れないものかと考えています。明治神宮の杜は、100年計画の下に、木々が4代にわたって変化して完成するように作られた人工の杜だと知ったからです。また、屋久島に行った際、神々が住まれるという島の最上層にある杜に入ったときに、杜の生きる力を実感したからでもあります。広島市内中心部には、植木はあっても杜はありません。市内を縦断するような杜ができれば、杜の生きる力で、原爆の惨禍に倒れた方々の魂を癒すことができないか、広島市の復興の象徴にならないか、二酸化炭素対策やヒートアイランド現象の緩和等環境対策にならないか、孫やひ孫達に癒しの場を残してあげられないかと思うのです。そんな杜が、ロータリーの杜だったら、素晴らしいとは思いませんか。(森川和彦)